

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	薬理学Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年	学期及び曜時限	前期	教室名	4校舎501
担 当 教 員	川原 一仁	実務経験と その関連資格			
《授業科目における学習内容》					
様々な薬効を持つ医薬品が作用するメカニズムを知ることによって、将来、勤務する企業で取り扱うことになる医薬品の本質を理解できるようになります。様々な薬効を持つ医薬品について理解してください。					
《成績評価の方法と基準》					
学期末テストと小テスト、出席状況による。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進③;医学書院					
《授業外における学習方法》					
教科書を事前に読んでおくとともに、授業内容に関連した自分の興味のある項目を、図書館などの本で調べて「自分ノート」を作るなどし、予習や復習の習慣をつける事を期待します。					
《履修に当たっての留意点》					
各回の授業には必ず、是非伝えたい重要な知識や、薬の安全性に関する注意点などが必ずあるので、それを見逃さないように受講することを期待します。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 呼吸器系に作用する薬物について理解することができる		指定した教科書を事前に読んでおくこと。	
	各コマにおける授業予定	気管支喘息治療薬、鎮咳薬・去痰薬・呼吸促進薬について解説する			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標 消化器系に作用する薬物について理解することができる		指定した教科書、および配布したプリントを事前に読んでおくこと。小テストの予定、復習をしておくこと。	
	各コマにおける授業予定	消化性潰瘍治療薬、胃酸の作用を抑える薬物、胃粘膜保護作用を持つ薬物、ヘリコバクター・ピロリの除菌治療について解説する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標 健胃・消化薬と消化管運動促進薬について理解することができる		指定した教科書、および配布したプリントを事前に読んでおくこと。	
	各コマにおける授業予定	健胃・消化薬、消化管運動促進薬、制吐薬について解説する			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標 消化器系に作用する薬物について理解することができる		指定した教科書、および配布したプリントを事前に読んでおくこと。小テストの予定、復習をしておくこと。	
	各コマにおける授業予定	下剤と止瀉薬について解説する			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標 女性生殖器に作用する薬物について理解できる		指定した教科書、および配布したプリントを事前に読んでおくこと。	
	各コマにおける授業予定	女性ホルモンの働き、女性ホルモン関連製剤、更年期障害治療薬、経口避妊薬、排卵誘発薬、子宮収縮薬について解説する			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 男性生殖器に作用する薬物・泌尿器に作用する薬物について理解できる		指定した教科書、および配布したプリントを事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定 男性ホルモン関連製剤、勃起不全改善薬、排尿を促す薬物・抑制する薬物、前立腺肥大症治療薬について解説する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 ホルモンとホルモン拮抗薬について理解できる		指定した教科書、および配布したプリントを事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定 糖尿病治療薬、甲状腺疾患治療薬について解説する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 治療薬としてのビタミンについて解説する		指定した教科書、および配布したプリントを事前に読んでおくこと。小テストの予定、復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定 ビタミンの分類、それぞれのビタミンについて解説する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 皮膚に使用する薬物について理解することができる		指定した教科書、および配布したプリントを事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定 皮膚の構造と皮膚科用薬の特徴、外用薬の基剤、皮膚科用薬の種類について解説する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 眼科用薬について理解することができる		指定した教科書、および配布したプリントを事前に読んでおくこと。小テストの予定、復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定 眼の構造と眼科外用薬の特徴、眼科外用薬の種類について解説する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 救急の際に使用される薬物について理解することができる		指定した教科書、および配布したプリントを事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定 心停止・ショックに対する薬物、不整脈・高血圧緊急症・狭心症に対する薬物、血栓溶解薬・利尿薬・鎮痛薬・抗痙攣薬・高尿病患者的昏睡に用いる薬物について解説する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 漢方薬の基礎について理解することができる		指定した教科書、および配布したプリントを事前に読んでおくこと。小テストの予定、復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定 『証』の捉え方、主な漢方薬、有害作用について解説する		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 消毒薬について理解することができる		指定した教科書、および配布したプリントを事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定 消毒の定義、消毒薬の種類と応用、適用について解説する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 輸液製剤について理解することができる		指定した教科書、および配布したプリントを事前に読んでおくこと。小テストの予定、復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定 水分・電解質バランスおよび酸塩基平衡の正常化と維持、栄養状態の改善・維持について解説する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 今までの総復習を行い、医薬品の専門家として薬業界で活躍する人材になる一歩を踏み出すことができる。		
		各コマにおける授業予定 今までの総復習とその解説		